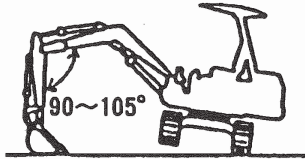
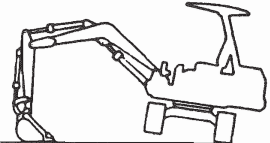
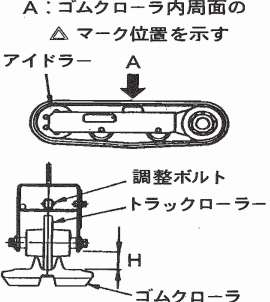
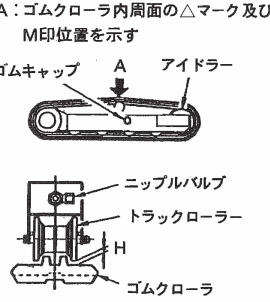
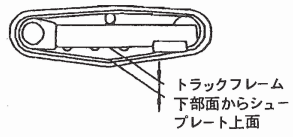
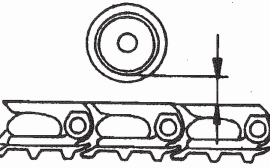
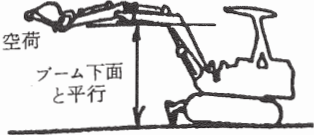
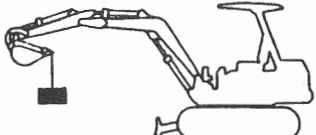

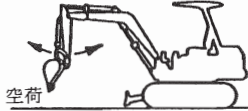
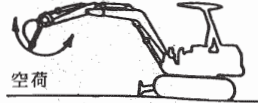


<p>走行性能測定姿勢</p>	<p>本機姿勢</p>  <p>90~105°</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 定格回転 (2) 作動油温：50~60°C (3) 場所：硬い平坦地 (4) 走行レバー：フルスロットル(履帯浮き側) (5) 片側の履帯を浮かせ、履帯の一枚所にマークを付け、走行レバーフルスロットル(履帯浮き側)で1回転以上空転後3回転の所要時間を測定する。 <p>(図 No. 1-1)</p>	<p>本機姿勢</p>  <ol style="list-style-type: none"> (1) エンジンフル (2) 作動油温：45~55°C (3) 履帯を片側ずつ持上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間を測定する。 <p>(図 No. 1-2)</p>
<p>ゴム履帯の張り(たわみ量)測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マークをトラックフレーム上部の中央位置になる状態でクローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p> <p>A：ゴムクローラ内周面の△マーク位置を示す</p>  <p>調整ボルト トラックローラー ゴムクローラ</p> <p>(図 No. 2-1)</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印をトラックフレーム上部の中央位置になる状態でトラックローラの踏面とゴムクローラ転動面とのすき間を測定する。</p> <p>A：ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す</p>  <p>ゴムキャップ アイドラー ニップル/バルブ トラックローラー ゴムクローラ</p> <p>(図 No. 2-2)</p>
<p>鉄履帯の張り(たわみ量)測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックフレーム中央下部からシュープレート上面とのすき間を測定する。</p>  <p>トラックフレーム 下部面からシュープレート上面</p> <p>(図 No. 2-3)</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-4)</p>

<p>作業機自然降下量及び各シリンダの自然伸縮量の自然伸縮量測定姿勢</p>	<p>空荷</p> <p>ブーム下面と平行</p>  <ol style="list-style-type: none"> (1) エンジン停止 (2) 作動油温：50~60°C (3) 上記の本機姿勢で60分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。 (4) ブレードの自然降下量は最大上げ位置より1時間のシリンダロッド縮み量を測定する。 <p>(図 No. 3-1)</p>	 <ol style="list-style-type: none"> (1) 上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量及びバケットティース先端の降下量を測定する。 (2) 水平・平坦地 (3) バケット：定格負荷 (4) レバー中立 (5) エンジン停止 (6) 作動油温：45~55°C (7) セッティング直後に測定開始 (8) 5分毎に降下量を測定し、15分にて判定する。 <p>(図 No. 3-2)</p>
<p>作業機速度測定姿勢</p>	<p>ブーム上げ</p> <p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60°C (3) 場所：平坦地 <p>(図 No. 4-1)</p>	<p>アームシリンダ伸ばし及び縮め</p> <p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60°C (3) 場所：硬い平坦地 <p>(図 No. 4-2)</p>
<p>バケットシリンダ伸ばし及び縮め</p>	<p>空荷</p>  <ol style="list-style-type: none"> (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60°C (3) 場所：平坦地 <p>(図 No. 4-3)</p>	

適用範囲		モデル名	B3-5	B3-5B	B3-6	B3-6A	B4-6	
		適用号機	50501~	55001~	60501~	62001~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	33.9	33.9	35	35	35

適用範囲		モデル名	B4-6A	B6-3	B6-3A	B6-5	B6-6	
		適用号機	56001~	30501~	36001~	50501~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	35	31	31	36	38

適用範囲		モデル名	B6-6A	B7-3	B7-5	B7-5A	B7-5B	
		適用号機	62001~	30501~	50501~	50501~	59603~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	38	33	36	36	36

適用範囲		モデル名	VI020-3	VI027-3	VI027-3B	VI027-5	VI027-5B	
		適用号機	30501~	30501~	35001~	50501~	53316~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	39	37	37	35	35

適用範囲		モデル名	VI030-3	VI030-3B	VI030-5	VI030-5B	VI030-6	
		適用号機	30501~	35001~	50501~	53607~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	32	32	35	35	48

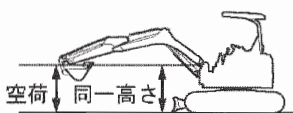
適用範囲		モデル名	VI035-3	VI035-3B	VI035-5	VI035-5B	VI035-6	
		適用号機	30501~	35001~	35001~	57001~	60501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	34	34	34	34	52

適用範囲		モデル名	VI040-1	VI040-2	VI040-2A	VI040-3	VI040-5	
		適用号機	10501~	20501~	25501~	30501~	50501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	37	35.5	35.5	35.5	31.5

適用範囲		モデル名	VI040-5B	VI050-1	VI050-2	VI050-2A	VI050-3	
		適用号機	57001~	10501~	20501~	25501~	30501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	31.5	34	34	34	34

適用範囲		モデル名	VI050-5	VI050-5B	VI070	VI070-2	VI070-3	
		適用号機	50501~	57001~	00705~	20501~	30501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	31.5	31.5	36	36	36

適用範囲		モデル名	VI070-3A	SV100-1				
		適用号機	36001~	10501~				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位					検査基準値
装伝動 置達力	クレーン 時の巡回 速度	5回転の所要時間 (図NO, 1)	秒	36	54			

検査条件	<p>本機姿勢</p> <p>(1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：固い平坦地 (4) 空いで1回転空旋回後、5回転の所要時間</p>
	 <p>【図NO, 1】</p>